

【別記 1】

実 施 要 領

〔 愛媛県立南宇和病院 清掃業務 〕

1 目 的

病院内の衛生環境を最良に保ち、入院患者及び外来患者に清潔感を与えることにより、地域住民への医療サービス提供の向上を図る。

2 建物の概要

建物の配置図、平面図並びに各部屋面積は、別記2「仕様書」のとおり。

3 清掃区域及び清掃要領

(1) 清掃区域

病院棟、屋外、その他（別紙平面図）の清掃をするものとする。

(2) 清掃要領

(ア) 床面の清掃

フローリング等の清掃は、モップ拭き（必要に応じて雑巾）。
タイル面等は、箒または水洗清掃。

(イ) 調度品の清掃

机、椅子その他は、雑巾による拭きとり清掃を行うこと。

(ウ) 扉、間仕切り、窓枠、棚等の清掃

はたき、雑巾等により清潔に保つこと。

(エ) 洗面所、浴室、トイレの清掃

水洗、必要に応じ薬品を用いて洗浄を行い、拭きとること。
汚物がある場合は、搬出処理すること。

また、薬液の補充（薬液代は病院負担）、トイレットペーパー（病院負担）の補給をすること。

(オ) ハンドドライヤー

手洗場所に設置してあるハンドドライヤーは、水受けカップを外し、溜まった水を捨て、汚れを水で洗い流すこと。

また月 1 回フィルターの掃除を行うこと。

(カ) ゴミ箱の清掃

ゴミ箱は常に清潔に保ち、分別収集に注意すること。

(ゴミ箱及びゴミ袋は病院負担)

(キ) 玄関付近、駐車場、救急入口付近、外庭等の清掃

モップ、箒等を用い、紙屑、ほこり、たばこ吸い殻等を除去して常時清潔にし、美観を保つこと。

(ク) 屋上及び屋外部分の清掃

紙屑、ナイロン屑等を除去するほか、排水溝等の点検、清掃を行うこと。

(ケ) その他

畳、窓ガラス、照明器具、天井、壁等の清掃及び汚物搬出処理については、建物の各素材の特性を検討して最適の清掃用具を使用すること。

(コ) 廃棄物

所定の方法により廃棄物を収集し、飛散しないように所定の廃棄物保管場所に移動、整理すること。

(廃棄物は別途収集運搬業者、処分業者に委託して処分する)

(サ) 病室

患者の病状等で清掃できない場合等は、退院時などの病院職員が指示した時間に清掃を行うなど、病院業務に支障のないようにすること。

(シ) 業務の確認

清掃従事者は、各階トイレ及び主な箇所に設置している掲示板（ホワイトボード）に、清掃終了毎に日時及び清掃者名を記載すること。なお、この掲示板等の消耗品は病院の負担とする。

(3) 一般的事項

(ア) 乙は、契約書及びこの実施要領並びに別紙仕様書等に基づいて、常に清掃従事者に対し、業務の指導徹底を図る。

また、乙及び乙の清掃従事者は、契約書及びこの実施要領並びに別紙仕様書等に基づいて行われた病院職員の指示事項には、忠実に従い遂行しなければならない。

(イ) 乙及び乙の清掃従事者は、業務上知り得たプライバシーの保護に万全を期し、他に秘密を漏らしてはならない。

このことは、契約期間終了又は解除後においても同様とする。

乙は、研修等を通じて清掃従事者に、個人情報保護の重要性を十

分認識させること。

(ウ) 乙は、配属従業員の氏名、性別、配属部署等の一覧表を甲に届け出ること。

(エ) 乙及び乙の清掃従事者は、建物その他の破損及び異常を発見したときは、直ちに甲に報告し指示を受けること。

(オ) 清掃従事者は、病院の業務に支障にならないよう配慮し、また患者、来客者に対しての言動及び態度等に品位を保つよう注意すること。

(カ) 清掃業務に必要な電気及び水道は病院の負担とする。ただし、使用は必要最小限にとどめること。

(キ) 清掃業務完了箇所において、不備または不良箇所が認められる場合は、甲は、再度の業務実施を命ずることが出来る。

その場合は、清掃従事者は忠実に業務を実行すること。

(ク) 日常業務において不明な点は病院職員と協議して処理すること。